



全国学力・学習状況調査の結果について

本年4月19日に、中学校3年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果概要について、本校生徒の学力の定着状況、学習状況、生活習慣等の分析結果や今後の取組について以下のようにまとめました。しかしながら、調査により測定できるのは学力の特定部分の一部であり、学校の教育活動の一側面です。このことを十分に考慮しながら、この分析結果や今後の取組を家庭・地域の皆さんと共有し、学校・家庭・地域が一体となった取組にしていきたいと考えています。

《本校における教科に関する調査結果の分析》

☆国語科☆

【強み】事象や行為、心情を表す語句についてよく理解できています。

【弱み】目的に応じて使いわけることや、場や状況に応じて適切に活用する力に課題がみられます。

【今後の手立てについて】

- ・語句の意味や働きを理解できるようにするために類似問題に繰り返し取り組むことを通じて、特徴を捉え、理解を深めていく。
- ・表現技法は実際に自分が使うことで身につけていくため、スモールステップの形態をとり短文などからはじめ、実際に活用できる場面を増やしていく。



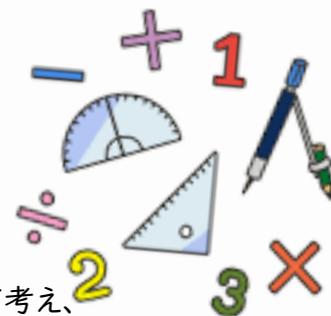
☆数学科☆

【強み】関数の必要な情報を適切に読み取ることができます。

【弱み】「図形」の証明の根拠(三角形の合同条件)を理解する力に課題がみられます。

【今後の手立てについて】

- ・1・2年時の学習内容を定着させることを引き続き大切にする。
- ・数学的な見方・考え方が深まる課題を設定したり、筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を生徒に説明させる場面を設定していく。



《生徒質問紙調査における本校の結果分析》

☆生活習慣等について☆

(全国平均を上回っている項目)

- 「携帯電話・スマートフォン・コンピュータ等の使い方について、家の人と約束したことを守っている」
- 「自分には良いところがある」
- 「自分でやると決めたことはやりとげるようにしている」
- 「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している」
- 「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」
- 「地域の行事に参加している」
- 「地域や社会をよくするために何をすべきか考えたことがある」

(全国平均を下回っていて、気になる項目)

- 「平日の読書時間」 → 「10分より少ない」と答えた生徒の割合は55.0%
※(「全くしない」43.3%は、全国平均を14.3%上回っている。)

☆家庭学習について☆

- ①学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか
(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む。)

| 選択項目 | 本校(全国比) | 三重県 | 全国 |
|--------------------|---------|------|------|
| 2時間以上 | 20.9 | 24.5 | 25.3 |
| 1時間以上、2時間より少ない | 31.9 | 35.3 | 34.3 |
| 30分以上、1時間より少ない | 20.8 | 18.3 | 17.0 |
| 30分より少ない(全くしないを含む) | 19.2 | 13.2 | 13.4 |

- ②普段どれくらいの時間、テレビゲーム(携帯電話・スマートフォンのゲームを含む)をしますか。

| 選択項目 | 本校(全国比) | 三重県 | 全国 |
|-------|---------|------|------|
| 4時間以上 | 27.5 | 18.9 | 16.3 |

《 白鳥中学校での授業の工夫 》

白鳥中学校では、次のことを、本年度の重点課題として取り組んでいます。

「めあて」の提示

学習に見通しを持ち主体的に学習に取り組む生徒の育成をねらいとする。

ICTの活用

他者の考えに触れる活動を授業で取り入れ、関わり合い、互いの考えを受け入れたり自分の考えと比較したりしながら、高め合える生徒の育成をねらいとしています。
特に、ICT(chromebook)を積極的に活用しています。

振り返り活動の充実

学習したことを自分化したり、何がわかるようになったのかを生徒自身が整理したりすることをねらいとする